

第2回三重県中東情勢の変化に伴う対策本部会議 概要

1 開催日時:令和8年5月15日(金)14時10分から14時 24分

2 開催概要:以下のとおり

(楠田政策企画部長)

- ・今回の会議から、より幅広く情報を収集し、必要な対策を機動的にとれるように、本部員を全部局長に拡大した。

※資料1

事務局(長井企画課長)から説明

雇用経済部(森吉部長)から説明

農林水産部(柘屋部長)から説明

地域連携・交通部(西田部長)から説明

県土整備部(上村理事)から説明

(野呂副知事)

- ・本部員を全部局に拡大したということは、それだけすべての部局が丁寧にあたっていただきたいということなので、我が事感を持ってしっかりお願いしたい。

(一見知事)

- ・米中の直接対話が行われており、ホルムズ海峡についても大きな議題となっている。イランがどのような対応をするかわからないが、今後の動きを注視する必要がある。
- ・ホルムズ海峡の通行が解除されれば、原油の不足についても、徐々に元に戻っていくということになるが、予断を許さない。引き続き、各業界、また、県民の生活について、どのような状況、弊害が出ているか、アンテナを高くして情報収集をしていく必要がある。
- ・品物の不足は一定の業界、分野で生じるころはあるが、徐々に改善していく可能性もあると思っている。ただ、引き続き情報収集をしていく必要がある。
- ・価格については、国が補助をする分野、例えば公共事業によるコスト反映という形で対応する分野、民と民との取引に関して適正取引を国として懲罰する分野、それ以外の分野もあるが、大きな問題が出てくる可能性もあるので、とにかく情報収集を密にするよう、政策企画部を中心に各部局が連携していただきたい。
- ・国が電気代、ガス代の補正予算の編成に着手をするのではないかという報道もある。県も6月補正を控えているので、補正予算の編成も含めて検討していただきたい。

(楠田政策企画部長)

- ・各部局等は知事の指示事項を踏まえ、関係機関との連携を密にし、事業者等へ丁寧

な聴き取りにより影響の把握に努めるとともに、必要な対策について検討を進めて
いただきたい。